

For Your Future

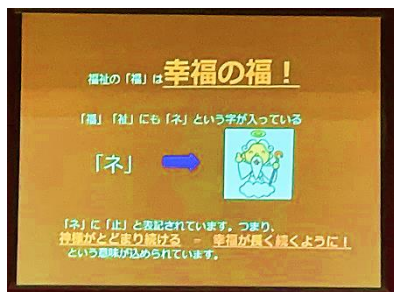
都城市立高崎中学校
進路通信 第2号
令和5年6月8日
校長 枇杷 善彦
進路担当 甲斐 麻由

進路講演会 ～福祉から学ぶ～

1日(木)に進路講演会を実施しました。小規模多機能型居宅介護施設「ヒストリア前浜」の施設長である猪野さんが、介護という職業について、実体験を交えながら丁寧にわかりやすく説明してくださいました。講演を聞くまで、ほとんどの人が「介護の仕事は大変だ」というイメージをもっていたと思います。しかし、現在ではICT化が進み、介護士の方々の負担もすいぶん軽減されてきているというお話を聞き、驚いた人も多かったのではないのでしょうか。

講演の中で、「福祉とは違いがあってもいいと受容すること。差別せずに共感すること。」であると話してくださいました。さらに、実際にあった出来事を通して、命の大切さも改めて感じることができました。そして最後に、これから進路を決定していく中学生へ、「自分で考え、行動し、最後までやり抜く人になってほしい。」「感動を与えられる人になってほしい。」「楽しいと心から思える仕事に就いてほしい。」というメッセージをくださり、とても有意義な時間となりました。

猪野さんの仕事に対する情熱は大変素晴らしいと思いました。みなさんは、これから自分の進路について考える機会が増えると思います。自分は何が好きなのか、何に向いているのか、また何のために働くのかなど、じっくり自分と向き合い、将来のことについて真剣に考えてほしいと思います。



～生徒のみなさんの感想より～

- 本当にあった話を聞くことで、いろんな病気があって苦しんでいる人が実際にいるんだと気づけたと思います。一番大切なのは病気を治すだけではなくて、その患者さんの思いに寄り添いながら相談にのってあげることだと分かりました。
- 命の大切さや尊さ、福祉とは何かなどいろいろなことを知れた時間となり、忘れられない授業となりました。これからも家族や地域の方々、世界中の人々のことを考え、大切に過ごしていきたいです。今日のことは絶対に忘れません。
- 僕はまだ夢はありませんが、猪野さんと同じで、人と触れあい笑顔にする仕事をやりたいと思いました。だから今のうちから人と触れあう時間を多くし、どうしたら笑顔になるかなど、小さなことからやっていきたいです。
- どんな仕事に就いても、相手のことを考えられる人になりたいと思いました。